

2024年度

地域リハビリテーション連携構築推進事業 in 逗子

逗子市保健センター 3階大会議室



昨年度に引き続き、逗子市において、介護保険事業所、障害福祉事業所、訪問看護、保健福祉事務所、行政機関等の方々を対象とした研修会を開催しました。

今回も多くの方にご参加いただきやすいよう、対面とZoomを用いたハイブリッド形式で開催しました。2日間を通じて、延べ103名の方にご参加いただきました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

「難病の支援と多職種連携について」

第1部

12月13日(金)

パーキンソン病の初期段階について各専門職から



第1部では、軽度の方やパーキンソン病の初期段階にある方々に対して、運動習慣の重要性とその習慣化の方法について説明がありました。また、保健福祉事務所や当リハセンターの協力の重要性についても触れられ、リハビリテーション専門職がそれぞれの立場からお話をされました。



参加者より

初期段階からの運動有効性や「患者の会」の立ち上げも重要ということを確認できました。

多職種連携の実際が参考になり、ぜひ一緒に支援の輪に関わりたいと思いました。

保健師の役割や仕事内容、個別支援→関係機関→多職種連携による難病患者、家族支援を今後、実践します。

第2部

12月20日(金)

難病の方のコミュニケーション支援についての考え方、進め方



第2部では、難病、特にALSや多系統萎縮症などの方々におけるコミュニケーション方法について、必要性が生じた時点から、どの視点でどのような方法で取り組むかについて説明がありました。



参加者より

サービスや支援について参考になり、相談員と連携しながら業務を行っていきたいと思います。

ご本人の困り度合い、家族、支援者の困り具合をアセスメントすることの大切さを再確認できました。

実際に触れ、体験することで利用者や家族に具体的にアドバイスできるのがよかったです。



最近のリハ専門相談～ICT機器～

近年、さまざまな機器が急速に発展し、便利な道具や機能が増加しています。これに伴い、リハビリテーション専門相談では、これらの機器を活用して在宅生活の自立度を高める方法や環境整備に関するご相談が増えています。

今回は、その中でも**音声入力**によってさまざまな機器の操作が可能となる「スマートスピーカー」についてご紹介したいと思います。

スマートスピーカーってなに？



できること

1. 音声アシスタント
・情報提供(気温や天気など)
2. スマートホーム連携
・声で家電を操作
3. 通話やメッセージ送信
など様々なことが行える

必要なもの

1. スマートスピーカー本体
2. インターネット接続(Wifi環境)
3. スマートフォンと対応アプリ
4. スマート家電(オプション)

上記の要素をそろえると、スマートスピーカーを活用できます

Wifi環境

スマートスピーカー
「電気を消して」

学習
リモコン

家電
「電気のOn、Off」

高次脳機能障害支援室

昨年は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。これまで「高次脳機能障害支援普及事業」についてお話しする機会があったと思いますが、改めて事業内容をご案内し、ぜひご活用いただければと思います。

神奈川県では、当センターが支援拠点機関として支援コーディネーターを配置し、「個別支援」「地域支援」「連携構築」「普及啓発」を柱に活動しております。当事者、ご家族、支援者など関係者の皆さまからのご相談を受け、必要に応じて訪問も行っております。また、事例検討会や勉強会など、個別の事業所からのご依頼にも対応しております。

高次脳機能障害がある方の支援においては、当事者支援が大事なことは当然ですが、ご家族への支援も非常に重要です。そのため、巡回相談として相模原、藤沢、小田原、大和で定期的な当事者・家族会を開催しております。また、「高次脳機能障害友の会ナナ」と協力し、協働事業室や就労を考える会なども実施しております。さらに、お住いの地域で相談できる場所があるように事業を展開しており、来年度の相談先が増えるように動いております。

高次脳機能障害でお困りのことがありましたら、些細なことでも構いませんので、ぜひお気軽にご連絡ください。今後ともよろしくお願ひいたします。

支援コーディネーター佐藤





リハビリテーション専門研修

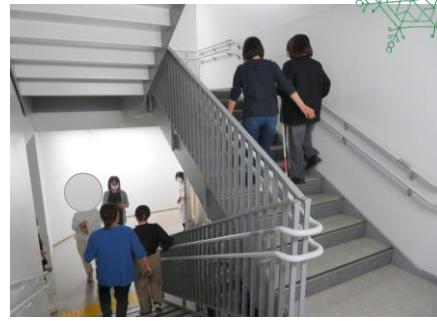
10.23(水) 視覚障がいのある方への支援

視覚障がいがある方が安心して生活できるテーマに、環境づくりや具体的な支援の方法について学びました。1日を通して医学的な知識やリハビリに関する情報提供、体験実習を通して理解を深められる研修でした。

参加者の声

アイマスクをつけて歩行することで見えない怖さを体験することができました。また、誘導時の声掛けの難しさ・大きさを学ぶことができました。

講師：神奈川リハビリテーション病院 眼科医師 久保 寛之、眼科視能訓練士 斎藤
七沢自立支援ホーム 視覚障がい支援員 矢部、小野、平岩、鈴木



講師：
日本コンチネンス協会 Ns 種子田 美穂子 氏
神奈川リハビリテーション病院 OT 一木

11.2(土) 排泄ケアの知識と実践

障害者や高齢者の排便問題に対し、チームケアに必要な基礎知識や実践のポイント、グループワークを通して他職種と意見交換や自身が受けたいと感じる排便ケアについて検討し実践的な支援を学べた研修でした。

参加者の声

排便ケア、便秘に対しての考え方方が変わりました。下剤に頼るだけでなく、食事や日常生活で工夫・改善することも重要なことを知ることができました。気持ち良い排便ケアに取り組みたいと思いました。

11.14(木) 摂食嚥下障がいのある方への支援

「さいごまで口から食べて元気に生きる食ケア」をテーマに、ポジショニング、食事介助、栄養、呼吸ケアについて実技や体験を通して、実践的な支援を学べた研修でした。

参加者の声

ポジショニングで「心の栄養を生み出す」とても大切な事であると強く認識しました。また、スプーンの選択や介助方法、食形態の選択など、とても参考になりました。



講師：神奈川リハビリテーション病院
Ns 長堀 OT 井上 PT 佐々木、平松

12.3(火) 褥瘡予防セミナー

褥瘡の基礎的な知識（褥瘡の好発部位やその要因）や予防（ケアの方法やポジショニングの考え方など）について、皮膚排泄ケア認定看護師・理学療法士・作業療法士の各専門職から、座学や実技を通して学べた研修でした。

参加者の声

自身が体験することで、理解が深まりました。また、何げない動きも工夫や配慮で利用者にとって、安楽につながる対応になると学べました。

12.14(土) 高次脳機能障がいセミナー 実務編

高次脳機能障がいがある方は、病棟や地域生活などの安定した生活が重要で、ご本人・ご家族の安心感や落ち着くと感じることの大切さを学びました。また、支援のポイントとなる治療的環境について学べた研修でした。

参加者の声

リハビリにおいて、環境調整や個別の対応が必要で、本人が安全だと感じる調整が大事とわかりました。何より、本人の気づきをいかに促すかが大事だと気づけて良かったです。



講師：
神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション科 医師 青木重陽
公認心理師 白川、PT 岡部、職業指導員 増子、SW 佐藤
地域リハビリテーション支援センター OT 吉澤

2月の専門研修予定

車いすシーティング

2月 1日（土）

神奈川リハビリテーション病院

今年度、最後の研修になります。

多くの方に参加していただきありがとうございました。

来年度も多くの研修を予定しており、皆様のご参加をお待ちしております。

*研修の詳細につきましてはHP上に随時掲載していきます。

地域リハビリテーション連携構築推進事業

「愛川町・厚木市・清川村の介護を考える」

愛川編

地域リハビリテーションを推進するためには、地域の課題を発見し、対話の場をつくることが重要です。今回は、愛川町を中心に、隣接する厚木市と清川村を対象として、各市町村の現状を知り、課題を見つけ、未来を描くことを目的に研修を企画しました。

メインテーマは「愛川町・厚木市・清川村の介護を考える」とし、顔が見える距離感で語り合うことを目指しています。ぜひ多くの皆さんにご参加いただければ幸いです。

詳細はQRコード、HPをご覧ください



第1部

今さら聞けない自立支援型地域ケア会議について

令和7年 1月19日(日)14:00～16:00

- ・自立支援型地域ケア会議のポイント
- ・自立支援型地域ケア会議における他職種連携とは

第2部

愛川町・厚木市・清川村の住民の暮らしを支えるために必要なこと ～本音で語り、本気で語る多職種連携とチームケア～

令和7年 2月 5日(水)14:00～16:30

場 所

愛川町農村環境改善センター 2階集会室（愛川町田代1195）

	神経・筋疾患	脊髄障害	脳血管障害	骨関節疾患	後天性脳損傷（除くCVA）	脳性麻痺	知的障害	視覚障害	その他（切断・加齢等）	不明	合計
県央	16(8)	3	5(2)			4(1)	9(5)	7	2		46(16)
湘南東部	4(1)	1	2		4(1)	8(2)	1	1		1	22(4)
湘南西部	6(1)	1	1		3	3(1)	3				17(2)
県西	1						1	2			4
横須賀・三浦	3	1	1				4	6(1)	4		19(1)
横浜市			1	1				12			14
川崎市								1			1
相模原市	1		1					2			4
県外		1	2								3
合計	31(10)	7	13(2)	1	7(1)	12(3)	13(6)	31	10(1)	5	130(23)

令和6年
4月～12月末まで
の専門相談実績
()の数字は訪問回数

障害者更生相談所	居宅介護支援事業所	市町村	地域包括支援事業所	本人家族	障害者相談支援事業所	障害者施設	医療機関	訪問看護事業所	保健福祉事務所	高齢者施設	訪問介護事業所	教育機関	その他	合計
県央			1	5	5	10(6)	4	2	8(5)	6(3)			5(2)	46(16)
湘南東部	2			3		10(3)	3	4(1)						22(4)
湘南西部	2(1)			4	6(1)	2	1	1						17(2)
県西	1			1	1					1				4
横須賀・三浦	1(1)		7	6	1					3	1			19(1)
横浜市	1			12			1							14
川崎市					1									1
相模原市					3		1							4
県外				2				1						3
合計	0	7(2)	0	9	37	12(1)	23(9)	10	7(1)	13(5)	7(3)	0	0	5(2) 130(23)

昨年は多くの皆さんと直接お会いしてお仕事ができ、とても嬉しく思っています。今年も感染症に負けずに前向きに頑張りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいいたします！（吉澤）

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516
神奈川県総合リハビリテーション事業団
地域リハビリテーション支援センター

☎ 046-249-2602
FAX 046-249-2601

編集後記

